



留萌市立病院



病院データ



住所	〒070-8511 留萌市東雲町2丁目16番地1
URL	http://rumoi-hp.jp
連絡先(窓口)	事務部総務課総務係 0164-49-1011 (内線1010) zaimu@rumoi-hp.jp
病床数	296床
専門研修指導医数	1人
臨床研修指導医数	7人
外来患者数	444.6人/日※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	127.4人/日※令和4年度(2022年度)実績
標榜科	内科 神経精神科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 麻酔科 放射線科 病理診断科 リハビリテーション科
給与(月額)	93万円
処遇	身分: 正規職員、保険等: 北海道都市職員共済、 宿舎: 借上げ住宅(一部自己負担有)
サブスペシャルティ	無

るもい総合診療医養成プログラム

当院は、広大な留萌医療圏の地域センター病院として二次救急医療の中心的役割を担っています。本プログラムの連携施設は、基本的に同一医療圏内であることから、患者及びその家族を急性期から慢性期まで継続的に診療することができ、問題解決能力のある質の高い総合診療医の養成を目指します。

〔連携施設〕

【病院】砂川市立病院／北海道立羽幌病院 【診療所】北海道立天売診療所／北海道立焼尻診療所／東雲診療所

院長・プログラム統括責任者から

るもい総合診療医養成プログラムでは、基本的に同一医療圏内で、患者さんとその家族を急性期から慢性期まで継続的にフォローアップすることを重視します。同一症例を救急医療や急性期医療から回復期や慢性期まで継続的に診療することにより、質の高い総合診療医・家庭医が養成されると考えています。内科領域を中心に幅広くかつ深く研修することにより、どのような状況でも「地域住民の抱える健康問題の相談に乗ってあげられる」、「目の前の患者さんが抱える問題を解決できる」といった問題解決能力のある医師の養成を目指します。

また、留萌市は医育大学と連携し地域医療実習などを通じた医療人育成に積極的に取り組んでおり、当院はその中心的役割を果たしています。教育指向、地域医療指向の専攻医にとっては望ましい環境です。すべての職種が一致団結して若手医師に協力・助言を惜みず、どこよりも暖かく迎えます。地域医療に興味がある専攻医が仲間となって、活気あふれる病院となることを願っています。



院長兼
プログラム統括責任者
高橋 文彦





ローテーション例

年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		1	施設名	留萌市立病院									
	領域	総診Ⅱ											
2	施設名	留萌市立病院						砂川市立病院			留萌市立病院		
	領域	内科						救急科			小児科		
3	施設名	北海道立羽幌病院						留萌市立病院					
	領域	総診Ⅰ						内科					

北海道立羽幌病院で総合診療専門研修Ⅰを6ヶ月以上、留萌市立病院で総合診療専門研修Ⅱを6ヶ月以上行います。必修領域別研修として、留萌市立病院で内科12ヶ月、小児科3ヶ月、砂川市立病院で救急科3ヶ月行います。その他の領域別研修として、留萌市立病院で外科や整形外科、増毛町立市街診療所などで病診連携を3ヶ月の範囲で行うことが可能です。

施設所在地の概要

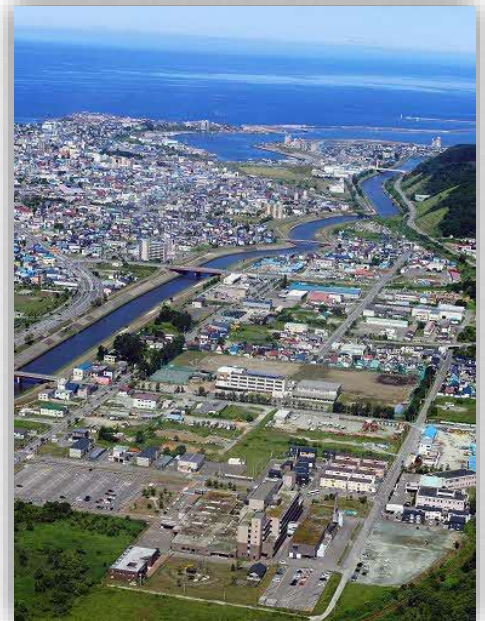
留萌市立病院の概要

北海道西北部の日本海に面した留萌二次医療圏に位置し、地域センター病院として二次救急医療の中心的役割を担っており、全診療科協力のもと24時間救急体制を確保するとともに圏域で唯一、緊急手術及び出産に対応しています。

また、道内医育大学と連携し、地域医療実習などを通じて医療人育成に積極的に取り組んでいます。

地域の特徴

豊かな自然に恵まれた留萌は、西には日本海、南北には暑寒別天売焼尻国定公園が連なり、暑寒別山系をはじめ夢の浮島と言われる天売・焼尻が望めます。晴れた日には、遠く利尻の島影が夕陽の輝く日本海に浮かぶ姿が見られ、風光明媚なマチです。



交通アクセス

高規格道路の開通に伴い、札幌から車で約2時間、旭川から車で約1時間30分の距離にあります。